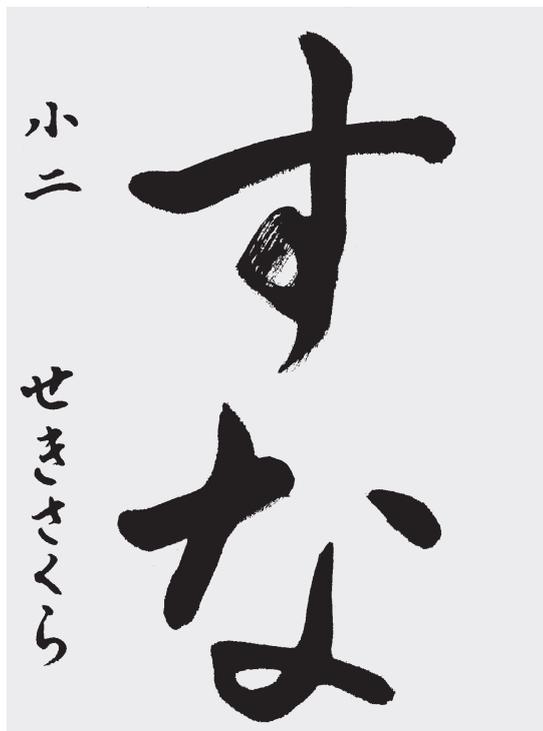


〔4月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月9日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小学2年参考手本

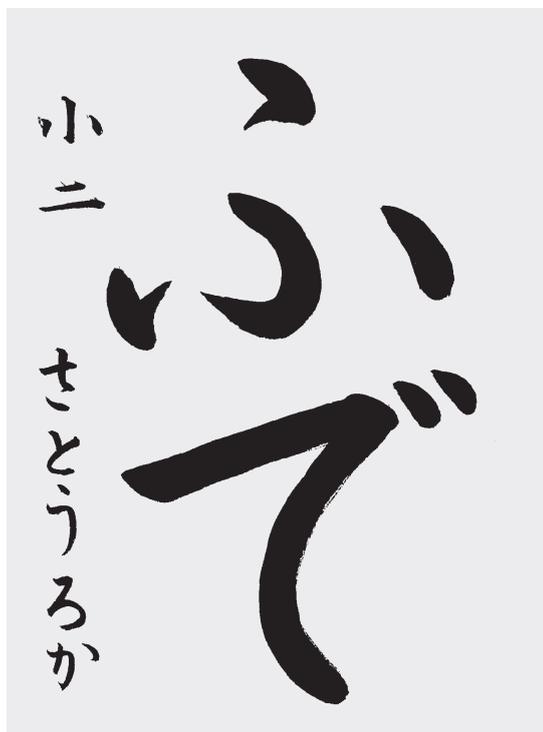


最首翠風先生

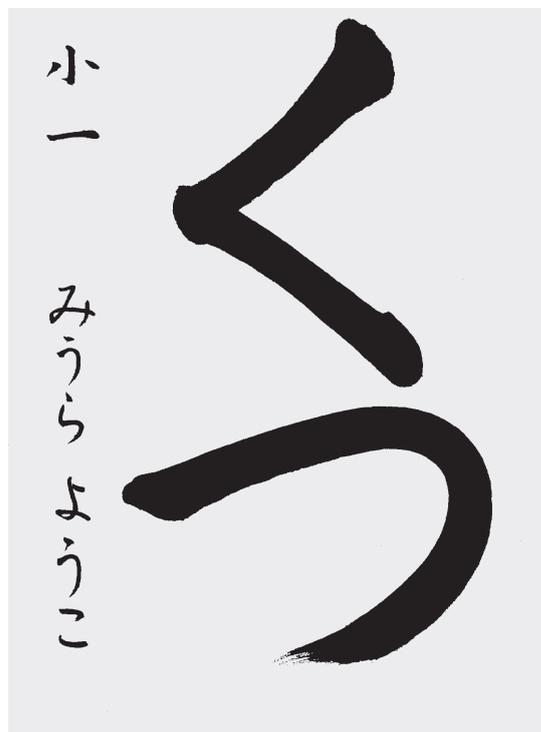
幼・小学1年参考手本



三浦鄭街先生



下谷洋子先生



坂本素雪先生

〔4月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月9日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小学4年参考手本



板垣洞仙先生

小学3年参考手本



工藤永翠先生



小林琴水先生



橋本玉扇先生

〔4月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月9日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小学6年参考手本



後藤大峰先生

小学5年参考手本



千葉蒼玄先生



広瀬舟雲先生



種谷萬城先生

〔4月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月9日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

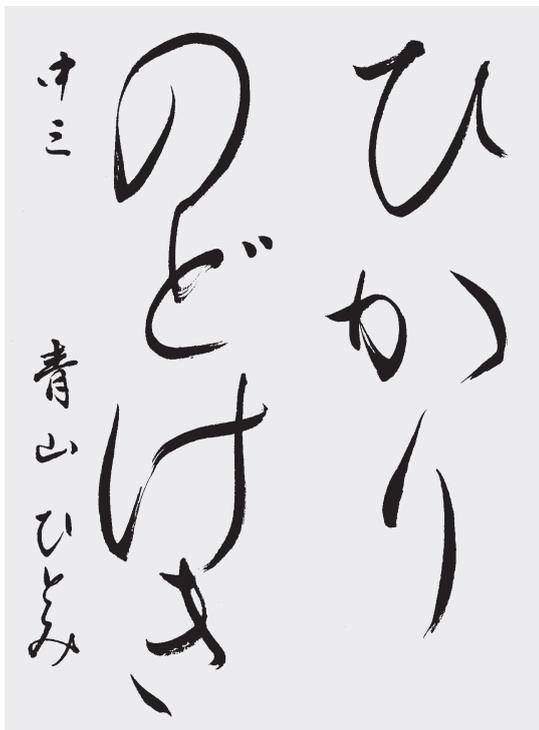
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



名越蒼竹先生



小浜大明先生



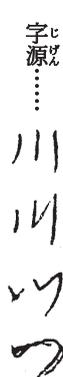
辻元大雲先生



小竹石雲先生

毛筆参考手本解説(1)

1年



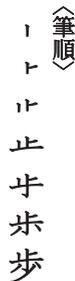
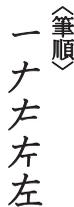
2年



3年



4年



5年



# 毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

起  
 筆順  
 + 十 走 起  
 はらう

立  
 そらす

カタカナの字源  
 しげん

ユ  
 由

ネ  
 祢

ス  
 須

コ  
 巳

・カナの字源には一部異説のあるものがある。

希  
 長く  
 (形)

中心  
 筆順  
 ノメテテテテテ  
 希

望  
 (形)

中心  
 筆順  
 ヲセ切切切切切  
 望

中心  
 筆順  
 ロハへん平にする  
 遺  
 中

中心  
 筆順  
 ロハ中 貴貴遺

中心  
 筆順  
 はらう  
 産

一立 产 产 产 产

やさしい行書

つなげる

閉

はらう  
 つなげる  
 省略  
 長く

ひかりのどけき

百人一首  
 久かたのひかりのどけき  
 春の日にしづ心なく花の散るらむ

のど

・連綿(れんめん)  
 文字と文字をつなげて書くこと

## ひらがなの字源 (306)

源字	字形
ひ	比 比 比 比 比
か	加 加 加 加 加
り	利 あり あり あり あり
の	乃 乃 乃 乃 乃
ど	止 止 止 止 止
け	計 計 計 計 計
き	幾 幾 幾 幾 幾

※源字については、異字体から変遷したものに\*印を付して( )にその字体を記した。  
 ※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

書写教育  
 全国大学書写書道教育学会編より転載

〔4月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月9日締切課題は、一学年上の手本を書いて下さい。

小学 2 年

幼・小学 1 年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

支 部 名				
	ん	し		
段・級	を	よ		
	見	う		
学 年	学	ぼ		
	し	う		
名 前	ま	く		
	す	ん		
	。	れ		
	小			
	川			
	一			
	生			

支 部 名				
	し	た		
だん・きゅう	ろ	か		
	い	い		
がくねん	く	や		
	も	ま		
なまえ				
	い			
	わ			
	き			
	ひ			
	ろ			
	む			

中心  
学  
はらるるはらるる  
すてい、ふへらまはせ  
くひつじゆん  
ニミシ学

見  
目と儿(ひとあし)の  
くみあわせ。  
人↓儿

し  
よ

ようおん  
(小さくかく字)  
のいちにちゅうい。

『しょうぼうくんれん』  
「学」の字形をたたく書きましよう。

とめ  
つづけるまきまげで  
ちいさくはねる

か  
とめ はね

た  
とめ  
つづけるまきまげでかく

『くも』  
とめ、はねをよくみてつづけるにかきましよう。

〔4月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月9日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小学 4 年

小学 3 年

支 部 名			
段 ・ 級			
学 年	四		
名 前	下元真菜		
	て	を	た
	い	あ	ん
	き	げ	に
	ま	た	ん
	し	人	の
	た	を	先
	。	。	生
		指	は
		名	手
		し	

支 部 名			
段 ・ 級			
学 年	三		
名 前	羽方日和		
	ふ	自	
	く	分	
	を	に	
	買	合	
	い	っ	
	ま	た	
	す	よ	
	。	う	

中心

はらいをまげすびな

中心

はねる

「匕」と「日」の組み立てに気をつけましょう

一ノ才打指

中心

まがり

ノルハ生先

〔指名〕  
筆順に気をつけて字形をととのえましょう。

ちゅうしん 中心

あける

左右のはらいのつりあい

とめ

〈字形〉

漢字の外形をみてととのえて書きましょう。

たてが出る



〔4月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月9日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

中学生（行書）

中学生（楷書）

支部名	は東洋の絵の特徴である。 書き加えたものを画賛という。これ	絵の上部や余白に言葉や文章を
段・級		
学年		
氏名		
氏名		

支部名	は東洋の絵の特徴である。 書き加えたものを画賛という。これ	絵の上部や余白に言葉や文章を
段・級		
学年		
氏名		
氏名		

東洋  
言葉

・行書のワンポイントアドバイス  
行書の特徴のひとつで点画が連続することがあります。  
左の↓の所を参考にして下さい。

中心  
画  
賛

間かく

〈筆順〉



ニ夫 缺 替 賛

中心  
画

内側にむける

〈筆順〉

一 行 而 画 画

中心  
絵

〈筆順〉

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

許容 方向・筆順

1 2 3

「画賛」  
行の中心がゆがまないように書きましょう。



# 書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部児童教育学科教授、全日本書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著者に「刻された石と記憶」、共著に「明解・書写教育」などがあります。

## 第1回 書写って？

みなさん、こんにちは。これから書写（しょしゃ）の世界へご案内いたします。

今回から、このコーナーを担当することになりました広瀬舟雲です。私は、書写書道教育が専門で、その学習方法や教え方などの研究をしています。小学校・中学校の国語の先生や、高校の書道の先生になるために必要な専門科目の授業を大学で受け持っています。じょうずに書くためのコツや知識など書写についてのいろいろな？を、今後少しずつ、小学生・中学生のみなさんと保護者の方々、そして何よりも指導者の方々にお話できればと思います。どうかよろしくお願いします。

では、小・中学生のみなさんに質問です。まず「書写」とは、何でしょう。知っている人？

子ども①「はい、書道のことです。」

子ども②「習字のことです。」

子ども③「毛筆と硬筆の授業のことです。」

みんなよくできましたと言いたいところ

ですが・・・、①は、残念ながら誤りです。

②は近いのですが、もう一步、③の答えがこれの中では一番よいのですが、あと少し足りません。書道・習字・書写の違いについて、はっきりとわかっている人は意外に少ないのです。今回お話ししている「書写」という用語は、「習字」や「書道」とは違うもの、つまりこれらと区別するために生まれた用語であったということをまず、お話しておかなくてはなりません。ちなみに小学校と中学校の毛筆・硬筆の授業は「国語科書写」といい、高校での毛筆などの授業は「芸術科書道」といいます。②、③の答えに少し足りなかったものとは？書道・習字・書写の違いについて、次回くわしくお話ししようと思います。（つづく）



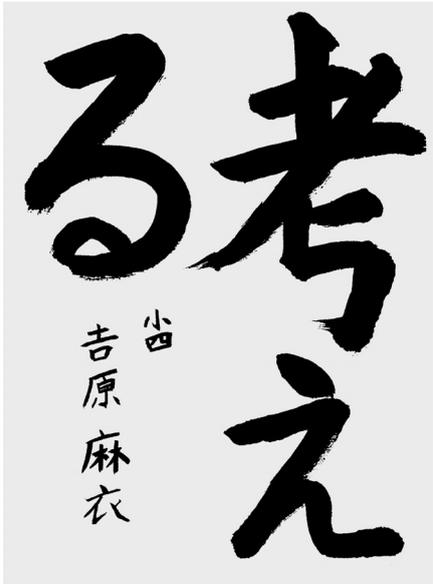
第67回全国学生書道展表彰式

今 月 の ホ ー プ



中三 高野 天音 (華祥社)

のびやかな筆使いで行書のリズムをバランスよく表現しています。名前も全体に調和して書けています。



小四 吉原 麻衣 (前橋支部)

正しい筆運びで、生き生きした線が生まれ、心をこめて字形を整えた清書は、品もあり美しく輝いています。

支 部 名	瀬川	く	見	来
段・級	瀬川	予	学	週
学 年	六	定	で	、
氏 名	小黒紗彩	で	国	学
		す	会	校
			議	の
			事	社
			堂	会
			へ	科
			行	

小六 小黒 紗彩 (瀬川書)

丁寧な文字の構成に伸びやかさを感じる。懐の大きな文字は見る人の心に飛びこみ、温かさを感じさせる秀作。

支 部 名	竹の子	う	は
段・級	竹の子	、	か
学 年	二	長	っ
名 前	清原智槻	さ	て
		、	し
		高	ら
		さ	べ
		。	よ

小二 清原 智槻 (竹の子支部)

のびやかな美しい字形、濃い鉛筆で迷いのない起筆、終筆、筆圧、力強い見事な作品です。

# 第 68 回 全 国 学 生 書 道 展

## 〈 半 紙 の 部 大 賞 作 品 〉



(中) 川 名 舞 乃



(中) 小 原 桃 果



(小) 楠 瀬 桃 花



(高) 中 村 玲 菜



(高) 越 後 谷 巴 音

### ごあいさつ

公益財団法人書道芸術院理事長 辻元大雲

本年68回目を迎えました全国学生書道展は、半紙部門と半切部門の2部体制もほぼ定着してまいり、今回展では半紙部門で若干の減少となりましたが、半切部門の出品が増加し、トータルで100点以上の出品増となりました。生徒の皆さん、ご指導いただいた先生方、ご家族の方々に厚くお礼申し上げます。その関係で半切部門のA賞を若干増加し、半紙部門とのバランスを取りました。

作品内容は半紙部門では自由課題としましたが、それぞれの学年にふさわしい内容でいずれも丁寧で着実な作品が多く感心しました。半切部門では小中学生は課題二文字での応募でしたが、皆さんよく練習されしっかり安定した作品が多かったと思います。

高校生・大学生部門は両部門とも自由制作でしたが、古典臨書・創作とも誠に多彩でレベルの高い作品が多く、努力の跡がよく見られました。審査では公平かつ暖かい配慮もしながら、一点一点丁寧に拝見して各賞を決定しました。受賞された皆さんは今回の受賞を励みとして、受賞を逃した方も次回に向けて更に頑張ってください。

終わりにご指導いただいた先生方、ご支援ご協力くださったご家族の皆様方に厚くお礼申し上げます。

〈半紙の部 準大賞作品〉



(小) 吉本 安李



(小) 都積 加鈴



(小) 萩原 里枝



(中) 菊池 瑛斗



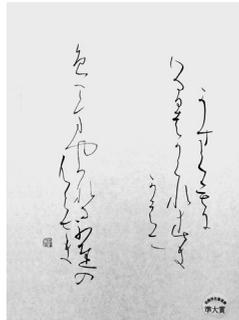
(中) 武内 美優



(中) 畠中 ひより



(中) 小池 美貴



(高) 久保 由梨奈



(高) 笹岡 美耶



(高) 澤田 奈夜

〈半切 1/2 の部 大賞 作品〉



(高) 安住 優 麻



(中) 浅桐 真子



(小) 石原 きらら

〈半切 1/2 の部 準大賞 作品〉



(中) 川名 葵



(小) 一瀬 莉久



(高) 松田 美春



(高) 梅津 美憂



(中) 中澤 遥

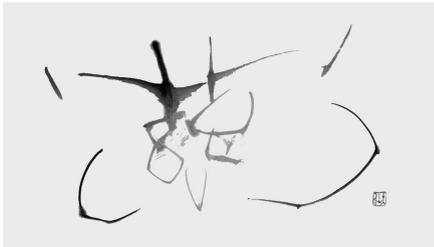
第68回 全国学生書道展  
「指導者作品展」役員作品



「宏」 顧問 香川 倫子



「拾」 遺作 恩地 春洋



「慈」 顧問 村野 大仙



「道」(古襲)  
顧問 小伏 竹村



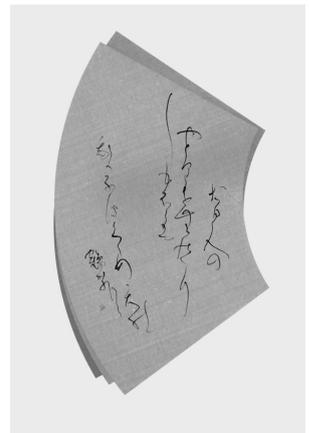
「寿鶴」 理事長 辻 元 大雲



「照見五蘊皆空」(般若心経より)  
常務理事 後藤 大峰



「人生」 常務理事 小竹 石雲



「旅人の」 常務理事 下谷 洋子

# 書道芸術学生版 春季昇級試験規定

・毛筆  
・硬筆

一、しめきり日 5月7日(日)

一、発表 表 5月下旬

## 毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

幼・小学校一年生 いろ(かいしよ)

〃 二年生 はる(かいしよ)

〃 三年生 中立(かいしよ)

〃 四年生 名言(かいしよ)

〃 五年生 足音(かいしよ)

〃 六年生 出発(かいしよ)

中学校一年生 成長(楷書か行書)

〃 二年生 筆法(楷書か行書)

〃 三年生 進路(楷書か行書)

一、受験料 各部一点 五〇〇円

毛筆  
硬筆 } 共 一人一点

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

一、書 体

○小学生は楷書(かいしよ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が毛筆で書く。(幼・小一の方は、

学年を書かなくてもよい)

一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

(毛筆・硬筆共)

のりしろ	
神田 書道 太郎	
	① 1999000100010 五段
昇試 (5月7日締切)	
① 毛筆	
神田 中3	
書道 太郎	
五段	
	
1999000100010	

○応募書類は4月下旬に、受験番号を記入した応募書類と「昇級試験用」バーコード出品券を送付する。

○左図のように記入して出品する。  
作品中央下に赤字で団体番号を記入する。

一年	し	ょ	う	た	ろ	う
	い	ろ				
			○	○	○	○
			↑	1	0	0
			例	1	0	0
				↑		
				団体番号		

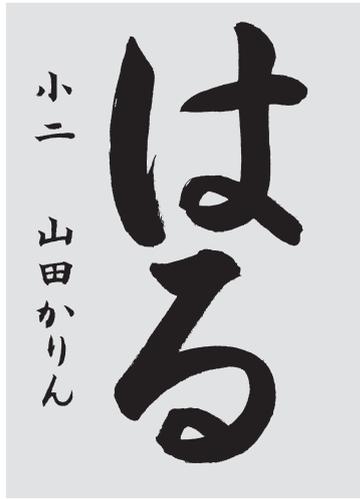
○くわしいきまりは、追ってお知らせいたします。  
※5月号の購読部数を越える受験はできません。

小学 3 年



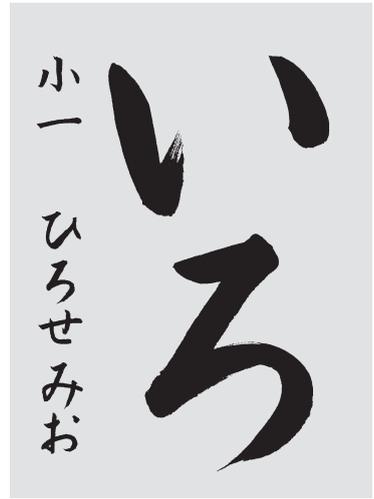
川島舟錦先生

小学 2 年



名越蒼竹先生

小学 1 年



広瀬舟雲先生

小学 6 年



広瀬舟雲先生

小学 5 年



川島舟錦先生

小学 4 年



名越蒼竹先生

中学 3 年

中学 2 年

中学 1 年



辻元大雲先生

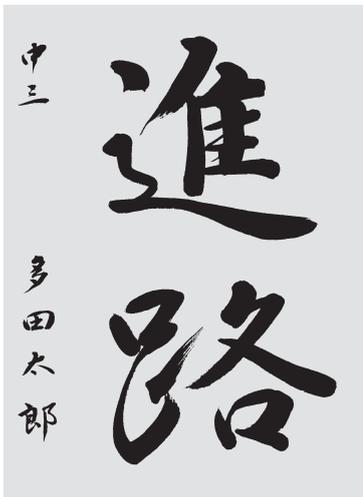


小竹石雲先生



種谷萬城先生

楷  
書



辻元大雲先生



小竹石雲先生



種谷萬城先生

行  
書

硬筆の部

- 一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。
- 一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。
- 二、課題（各学年用）文字は、参考手本通りに書く。
- 二、「空欄」「。」「、」も正しく書く。

一、課題

小学 1 年

支部名		えんそく	えがおで
段・級			
学 年			
名 前		ちやうのみず	

小学 2 年

支部名		つてきました。	一年生が学校に入
段・級			
学 年			
名 前		花田とあ	

- 一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。
- 一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。
- 例「ちやうのみず」
- 支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。
- 一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

※5月号の購読部数を超える受験はできません。

小学 3 年

支部名		朝食をとりました。	今日は、ゆっくり
段・級			
学 年			
名 前		戸田美羽	

小学 4 年

支部名		まっています。	は、昔の人のちえがつ	ことわざかく言に
段・級				
学 年				
名 前		清水星矢		

支 部 名	
段・級	
学 年	中三
名 前	岡田 静花

だ。とかくに人の世は住みにくい。  
 させば流される。意地を通せば窮屈  
 智に働けば角が立つ。情にさお

支 部 名	
段・級	
学 年	六
名 前	中村 結菜

が並んでいました。  
 目玉焼きと野菜いため  
 食たくには、パンと

支 部 名	
段・級	
学 年	五
名 前	安田 悠真

光っている銀河。  
 じ、星たちが重なり、  
 あ、の遠い空にひとす

春季昇級試験で硬筆の部を受験される方は、本院指定の用紙（月例と同じ用紙）を使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品してください。

用紙は、一冊30枚つづり。送料を含んだ金額は下記の通りです。

支 部 名	
段・級	
学 年	中三
名 前	岡田 静花

だ。とかくに人の世は住みにくい。  
 させば流される。意地を通せば窮屈  
 智に働けば角が立つ。情にさお

春季昇級試験

硬筆の部

を受験される方へ

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用      ② 4・5・6年生用
- ③ 2・3年生用      ④ 中学生用

料 金 表 (送料含む)

硬筆用紙 9冊以下 (1冊100円+送料)					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	245 円	4	615 円	7	1,000 円
2	405	5	800	8	1,100
3	515	6	900	9	1,250

10冊以上のご注文は、送料無料。

# 漢字に親しもう

85

今月は小学4年生の毛筆課題「千歩」から「千」をとりあげます。「千」は小学1年生で学習する漢字で、「千」とよく似た漢字「干」(小学6年生で学習する漢字)と比べてみます。

千

音 せん  
訓 ち  
部首 十部  
画数 3画

なりたち 十 千

人が前へ進むようすに「一」をつけて、数の一〇〇〇を表した。

意味 ①数の「せん」。百の十倍。②ひじょうに多いこと。

## 解説

「千」と「干」を比較すると大きく違うのは一画めの方角だけです。「千」は左下に、「干」は→左から右です。

ほとんど同じ字形でも文字のなりたちから調べてみると全く違っていました。ほかの漢字でもよく似ていますが全く意味が違う漢字があるかさがしてみましよう。

干

音 かん  
訓 ほ・す  
部首 干部  
画数 3画

なりたち Y 干 干

てきをついたり、ふせいだりする、ふたまたの棒をえがいた字。「あいてに立ちいって、かかわり合いをもつ」という意味を表す。のち、乾と音が同じところから、「かわかす」という意味にも使うようになった。

意味 ①かわかる。②かわかす。かわく。

①かわかる。かわく。

# 編集余録

○4月号から新しい学年の課題になります。

間違えないように注意してください。また、毛筆参考手本の解説を載せるようにしましたので競書を書くときの参考になればと思います。より解りやすいようにしたいと思いますので気がついたことがあればお知らせください。

○第68回全国学生書道展に際しまして指導の先生方、たくさんの方の参加者の皆様に感謝いたします。今月号に半紙の部、半切の部の大賞・準大賞の作品と指導者展役員作品を掲載しましたのでご覧ください。次回、第69回全国学生書道展にも多くの皆さんの出品をお待ちしています。

○春季昇級試験の課題と毛筆硬筆の参考手本を掲載しました。是非参考にしてください。

作品の締め切りは5月7日(日)です。力作をお寄せください。

(豪峰)